

## 実施概要

【対象】大学で文化芸術を学ぶ学生

【参加者数】計17名

【開催日程】令和4年6月15日(水) 新潟大学工学部大学院学生

7月7日(木) 新潟大学教育学部・工学部学生

7月19日(火) 開志専門職大学アニメマンガ学部学生

## 主な意見のまとめ

【テーマ:新潟市のあるべき姿、文化政策に期待すること】

- 子どものころから文化芸術・歴史に触れたり、体験できたりする環境やきっかけづくり
- ・子どもたちが音楽に触れた時に、感動や気づきを得て、自分なりに捉えられるような感性を持てるようになると良い
- ・文化芸術が好きな人を増やす取り組み

○挑戦できる場所

- ・新しい事ができる場所があれば、やりたいことがある人が集まる
- ・文化活動をやりたいと思った時、本気でやりたいと思った時に県外などに出なくてもできるような環境

○文化に関わる人(見る人、やる人、考える人)の交流

○情報が欲しい人、新規顧客となる人へ届くような情報発信

○働く選択肢にコンテンツ産業がある

- ・アニメーターが安心して生活しやすくなる環境づくりや支援

【テーマ:文化的なまちの要素】

○「日常」で文化を感じるまち

- ・コンサートホールだけでなく、市全体の街中から音楽が聞こえてくるまち
- ・日常、なりわい、いとなみ(目に見えないもの)の価値付け
- ・文化として習慣にしておくこと

○文化芸術に触れられる「非日常」

- ・ハレの場(祭り等)

○文化に関わる人(見る人、やる人、考える人)